

彩星（ほし）の会

若年痴呆家族会 会報 第10号
平成16年2月発行

発行者 彩星の会東京事務局（編集者 宮永・駒井）

定例会について

1月25日（日曜日）、三田駅近くの港区勤労福祉会館にて恒例の家族会定例会が開催され、今回は平成15年度総会を兼ねて行われました。萩原会長の開会挨拶のあと、会計報告、15年度は研修会等の収入による繰越金の説明がありました。続いて宮永先生より、16年度の予算案、事業計画について発表されました。研修会・講演会以外に、前年に引き続き旅行も計画として組み込まれています。最後に16年度の役員選出。ご家族を中心に新しい役員も選ばれましたが、宮永先生の迷（？）人事で、突然の選出に役員の挨拶はしどろもどろ……。笑いも起こる楽しい総会になりました。そして何ととっても、萩原会長が昨年引き続いて選出されたことに、会員一同大拍手を送っていました。（会長さん大変ですが、よろしくお願いします。）

その後はいつもの家族近況報告。今回もたくさんのご家族が出席され、新しく参加されたご家族に対しては、他のご家族の暖かいフォローアップがあり、また先生方サポーターのアドバイスありで、いつもの彩星の会らしい助け合いの場となりました。

ご本人たちは、慶応大学見学ツアーに参加。若い学生に混じって、ご自分の学生時代の思い出を語る方もおられました。そして最後は、クラシックがお好きなメンバーさんの指揮を中心に、懐かしの歌の大合唱になり……。

そしてコミュニケーションには、いつものように比留間先生の幹事のもと、今回大勢の方々が参加されました。特に印象的だったのは、メンバーさん同士が以前からの知り合いのように、ビールをつぎながら語り合っておられたことです。やはりお酒は人の心をうまく結びつけるのですね。

家族会総会について

家族会総会は、平成16年1月25日（日）午後1時より港区勤労福祉会館で開催されました。会員数は118名（114名の個人会員、4団体会員、平成16年1月現在）ですが、当日は30名の参加と委任状が33名あり、半数の57名を超えた63名となり、総会は成立しました。総会は、予定時間を5分ほど遅れて始まりました。萩原代表の挨拶の後、以下のような15年度会計報告があり、了承されました。

家族会会計報告

収 入	金 額	支 出	金 額
前年度繰越金	208,515		
年会費	236,144	通信費	11,500
		はがき代	2,226
		封筒代	33,300
		切手代	
15年度若年痴呆 研修会収入	229,727	15年度若年痴呆 研修会支出	205,570
金利	2	15年度総会会場費	7,400
合計	674,388		259,996
収入		次年度繰越金	
674,388		414,392	
支出		=	
674,388 - 259,996		=	

また、16年度の事業計画と役員は以下のように決まりました。

16年度予算案と事業計画	
1) 総会	平成17年1月に予定
2) 家族会定例会	隔月第4日曜日に予定(1月、3月、5月、7月、9月、11月)
3) 講演会	平成16年7月ころ
4) 研修会	平成16年9月~10月
5) 家族会旅行	平成16年6月ないし7月ころ
6) 家族会報	年4回発行する
7) 会費	会費は変更しない(個人5000円、団体10000円、準会員1000円)
16年度役員名簿	
1) 代表	萩原弘子
2) 副代表	小沢礼子、干場功、笠原雅子
3) 会計	干場香名女
4) 監事	高橋恵美子、牧野史子

5) 会報担当	駒井由起子
6) 顧問	齋藤芳雄、高橋正彦、比留間ちづ子、宮川富三雄、宮永和夫

[ホームページへ](#)

ご挨拶

15年度総会で選出された、16年度の新しい役員の方々です。個性派揃いの皆さんに、抱負を述べて頂きました。

<代表> 荻原 弘子 (家族)

新年を迎えまして

彩星の会の皆様には明るく、新しい年をお迎えになられましたでしょうか。彩星の会も早いもので三年目を迎えることが出来ました。

宮永先生、高橋先生、比留間先生初め諸先生方のご尽力やご支援の支えのもと、彩星の会家族の皆様が精神的、経済的悩みが徐々にではありますが、少しでも取り除かれ、個々人の苦悩の理解や解決につながる会へと確実に歩んでまいることができました。

今後とも、会員の皆様が交信や交流を通して、介護で押し潰されることなく、癒され、さらに明るく輝いて日々過ごされることを願っております。また、定期的開催されます家族会ではご意見等を活発に発言して頂いておりますが、施策として進展し、会員皆様のご満足度に繋がってゆくように願い、かつ思っております。

微力な代表ですが、今後とも宜しくお願い申し上げます。

<副代表> 干場 功 (家族)

あっという間の1年でした。妻もこの1年色々ありましたが、今年も妻の施設で新年を迎えることができました。家族会も年々参加者が増えてきて、価値観を共有できる者同士の会話ができることが、とても心の安らぎになっているのではないかと思います。

自分が今まで何と狭いフィールドで生活してきたのかとつくづく感じています。今は、新しい人たちと接し、毎日を新鮮な気持ちで生活しております。しかし、施設にいる妻には「申し訳ない」と思い、訪問した時にはいつも感謝の気持ちを伝えるようにしています。

昨年12月から先生方、サポートセンターアラジンのご協力の上、若年痴呆家族会デイサービスを月1回開催できることになりました。私は、実験的デイサービスと考えていますが、この会で何がどうすれば喜んでみんなと一緒に行動できるのか、また、自分も何がしたいのかを家族、スタッフも感じられればと思っています。個人が、これまでの社会生活の中で成し得てきた物を大事にして、この会で少しでも発揮できる環境ができれば、それはすばらしいことです。いつも思い描いております、将来の私共の念願の施設が実現していくのではないかと思います。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

<副代表> 小沢 礼子 (家族)

皆様こんにちは。若年痴呆彩星の会総会も3回目を迎え、月日のたつのは早いものだとつくづく感じている今日この頃です。夫の病歴も6年目に入り、症状も一段と進み、1月下旬に起こした大混乱（朝から大声で怒鳴りまくり、フライパンで家中を叩きまくる）で、緊急入院して以来、現在も入院中です。先生は、1～2ヶ月様子を見ましようと言うことで、その先はどうなるのか夫の症状次第です。でもいつか家に帰れるのではないかという淡い期待を抱いていますが、果たしてどうなるのでしょうか。

そのような状態ですので3回目総会を欠席いたしました。また副代表ということで役を引き受けることになりました。本当に名ばかりで何もできませんが、私なりに経験したことなどをアドバイスできたらと思います。

何とぞよろしくお願いいたします。

<副代表> 笠原 雅子（家族）

家族会の発足時より参加させて頂いています。彩星の会の素晴らしさは、医療や福祉の専門職の方々が私たち家族を多方面からサポートして下さることです。3年目を迎え会員数は増え、回を重ねる毎に定例会も充実してきました。

当初は家族の嘆きや不安を語る重苦しい雰囲気スタートでしたが、先生方より病気の受け入れ方、患者のソーシャルサポート等についての講義を受けるにつれて、家族は次第に前向きに歩み始めました。定例会は家族の要望で、患者がサポーターさん達と別メニューで過ごすことになり、夫婦で親子で参加できるようになりました。昨年は念願の温泉バス旅行が実現し、どの家族も久々の旅行を思う存分楽しみました。

諸先生方にご指導頂きながら障害年金や介護保険の申請をして、経済的な支援を受け、介護サービスを受け始める方もでてきました。若年痴呆の場合、実際にデイサービスやショートステイを利用する際、様々な問題がおき家族は悩んでいます。まだ、家族会の存在を知らずに孤立した状態にある方がいらっしゃるのではないのでしょうか。一人でも多くの家族の方に参加して頂いて、家族の要望を大きな声にしていけたらと思います。

昨年に引き続き、微力ながら会のお手伝いをさせて頂くことになりました。よろしくお願いいたします。

<会計> 干場 香名女（家族）

今回、彩星の会の会計を担当させていただくことになりました。皆様のご尽力で、最近では家族会開催の都度会員が確実に増えている状況です。今後名簿や会費の管理など、責任あるお役目をきちんと出来るのか、やや不安ではありますが、母の病気をきっかけに皆様と知り合うことが出来たことは、母からの大きな贈り物と思っています。

他の役員の方々にも助けていただきながら、出来る限り頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

<監事> 高橋 恵美子（家族）

今年度から「監事」として役員に加わることになりました。よろしく申し上げます。本当は（宴会の）「幹事」の方が向いていますが、家族会には、一昨年の5月に初めて参加しました。知らない人ばかりの中でドキドキでしたが、主人の様子を長々と喋り、皆さんにうなずいて聞いていただき、とても気持ちが楽になりました。次からは主人と一緒に参加し、「飲みニケーション」という

二次会にも出るようになり、あっという間に皆さんと打ち解けてしまいました（いまや、二次会の「五人囃子」の一人に昇格しています）

家族はみんな、不安で一杯です。聞いてもらえる、わかってもらえる人がいることは、とても心強いものです。他の人の話を聞くことで、自分の状況を客観的に見られるようになりました。現状を受け入れ、何ができるのか、何をすべきなのかを考えられるようになりました。

これからの家族会が、話を聞きあうこと、情報交換を第一歩として、さらなる活動へと発展していくように、また組織として力をつけていかれるよう、できるだけのことをするつもりです。（皆さんの免疫力活性化のために、「お囃子」もがんばります！！）

<監事> 牧野 史子（アラジン代表：サポーター）

介護者サポートネットワークセンター・アラジンの牧野です。「彩星の会」立上げの頃から、世話人会の一員として参加させて頂いております。

この会は、ご家族とご家族を全面的にサポートする専門家の皆さんで結成されました。家族会としては、オープンで誰でもが受入れられる、そしてどんな立場の人でも平等でかかわれる、とてもアットホームな雰囲気です。ご家族の現実には深刻な状態であるにもかかわらず、（会メインの？）居酒屋談義は、いつも笑いが絶えないところです。（もちろんそれはこの会の首謀者である、宮永先生、比留間先生達のお人柄によるところが大きいのですが。）

運営についても、理想的な形で徐々にご家族にシフトしていっています。当初は私個人のかかわりでしたが、現在はNPO 団体としての資源を利用したサポートに変わりつつあります。この会との出会いに感謝しながら、これからも共に育っていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いたします。



<会報> 駒井 由起子（目黒区社会福祉事業団 作業療法士：サポーター）

「彩星の会」にボランティアとして参加させて頂いて、約1年が経ちました。最初は高次脳機能障害の家族会のこと、恩師の比留間先生に相談したところ、この会の参加を勧めたのがきっかけです。

メンバーさんたちとの散歩等の活動はもちろん楽しみですが、最近は、ご家族のお元気そうな様子を拝見したり、サポーターたちとの何気ない冗談に大笑いすることが楽しみになってきています。何だか、ご家族やメンバーさんたちに、私が支えられているように感じています。

せめて会報ぐらいお手伝いさせて頂こうと思っています。若年痴呆のことが社会的に理解されていくように、会のパンフレット作りも考えていますので、皆さん良い案がありましたら、アドバイスお願いします。

<顧問> 尚、各先生方には顧問として加わっていただきました。



宮永 和夫（医師：こころの健康センター）、高橋 正彦（医師：東京都老人医療センター）

比留間 ちづ子（作業療法士：東京女子医科大学病院）

斎藤 芳雄（医師：ゆきぐに大和総合病院）、宮川 富三雄（開発工事茅ヶ崎研究所）

[ホームページへ](#)

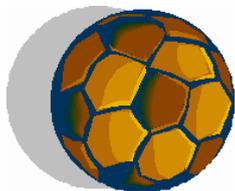
スタープラス



12月より開始されたデイサービスの情報です。これまで3回開催されています。主な活動内容は、

介 ど ム 流	メンバーの交流（自己紹介）
	お仕事など
	ランチタイム
	近隣散歩
	家族との交流

※ご家族は別室で、ご家族同士の情報交換、悩み相談、交流などを行っております



2月のスタープラス 11日(水) 11:00～「青春プレイバック!!!」のテーマで行われました。

参加メンバーは3人、ボランティアは6人。思い出の歌を歌いながら、今回のテーマである「青春プレイバック」として、皆さんの初恋談義などがちらほら。(ちなみに奥様たちには内緒です。) 午後の散歩に出る前には、阿波踊りでウォーミングアップ! Tさんのリズムに合わせて、最初は照れていたOさんも次第に本領発揮。慣れた手つきと、腰を入れて踊っていました。散歩は近所の檜町公園へ。六本木にこんな場所があったのかと思うほど、のどかな公園です。Tさんの一蹴りでサッカーが始まりました。いつもの穏やかなメンバーさんとは打って変わって、激しい蹴り方にか弱い(???)女性陣は「キャーキャー」と逃げ回るしかなく……。すると、女性に対しては次第に手加減をしてくださるようになり、いつものジェントルマンぶりが戻りましたが、男性同士ではワールドカップ並の熱い勝負が繰り広げられました。

奥様たちは、ひとしきり介護情報交換をされた後、六本木のホテルでオシャレにランチをとりながら、ご主人と離れる時間を持って、一息ついておられました。

相 談 (027-263-1166へ)

現在、以下のような相談を受け付けています。



1. 介護されている家族からのアドバイスをご希望の方

事務局にご連絡下さい。萩原代表や近くの世話人に相談にのって頂きます。

2. 医療(診断・治療などの知識、痴呆専門医の紹介)について

事務局にご連絡下さい。近くの専門医などをご紹介します。

3. 福祉・社会保障(施設入所・年金・手帳など)について

事務局にご連絡下さい。相談可能な社会福祉士や精神保健福祉士などをご紹介します。

4. 介護（制度・対応方法）について

事務局にご連絡下さい。内容により、会の役員をご紹介します。

[ホームページへ](#)



東京事務局設置

4月より東京事務局が開始されます。ご家族が中心になって、家族会の運営を行っていくことができるよう、体制を少しずつ整えていく予定です。役員の牧野さんのご好意で、港区六本木のアラジン内に事務局を置く事になりました。当面は、週に1日だけ開く予定になっております。電話を設置して、電話相談を受けていきます。相談対応できるご家族を次回の家族会で募集いたします。詳細は、また次号でお知らせいたします。

***事務局の場所** みなとNPOハウス 介護者サポートネットワークセンター・アラジン事務所内

***事務局開催日** 毎週金曜日 11:00～16:00

***事務局の主な仕事** 相談業務、会員管理業務、会報・お知らせ発送業務、定例会準備、会計業務、研修会準備

運営会議

家族会役員による運営会議が、定例で開催されることになりました。偶数月、第3土曜日になります。

今月は、東京事務局の件、年間計画、旅行の件、運営会議など盛り沢山の話題について話し合われました。

役員の皆様、ご苦労様です。

旅行

昨年ご好評だった、「旅行」をまた計画しています。荻原会長のお知り合いのホテルですので、乞うご期待ですよ。皆様、ふるってご参加ください!!! また、詳細が決まり次第ご連絡します。

時期：6月（中旬以降）

宿泊場所： ミニプチホテル サンライト妙高

夫婦は2人同室にできます。その他は3人位で一室。

食事：夜はフレンチ、朝は和食

予算：15,000円～20,000円

交通：行きはバス送迎有（長野市内などの観光つき）。帰りは未定。

[ホームページへ](#)

定例会・今後の予定

以下の日時と場所にて開催します。皆さま是非ご参加下さい。

<第8回定例会>

日時 平成16年3月28日（日）12時30分より

場所 みなとコミュニティ・ハウス 港区北青山1-6-3

交通 営団地下鉄銀座線 「青山1丁目」駅より5分

内容 1) お知らせ 年間計画・旅行・事務局設置

2) 交流会 3) 個別相談 4) 散歩（家族とメンバーが分かれて）



第9回定例会

日時 平成16年5月23日(日) 12時30分より 場所 みなとコミュニティ・ハウス

彩星の会・若年痴呆家族会 事務局

住所 群馬県こころの健康センター 前橋市野中町368

電話 027-263-1166

FAX 027-261-2015

Eメール drmyanaga@hotmail.com

ホームページ WWW009.upp.so-net.ne.jp/fumipako/

[ホームページへ](#)